



ご 挨拶

会長 大橋 聖一(D45) 幹事長 村瀬 由明(D53)

緑会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、緑会の諸行事および運営に対し、暖かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。以下、緑会の現状について執行側から見た概略を述べさせていただきます。

緑会の運営状況 リモート意見交換会と常任幹事会

コロナ下では対面での意思疎通が困難ですから、昨年よりリモート意見交換会を導入しています。皆様方からの意見をいただき、それに続くメール会議で決定して最終決定とさせていただきます。本来リモートで完結すれば、運営上容易ですが、現実には各家庭の接続環境に依存するところが大きいため、リモートで常任幹事会や総会の代替は時期尚早とさせていただきます。これは原因不明の接続困難が起きうること、参加者が一部の方に限られること、参加者数が多くないという理由です。現状ではメール会議なら皆様方の参加は可能でしょうから、参加できない不公平はないと思います。一方、リモートでは東京支部、近畿支部の方の参加があり、遠方からでも参加いただけるのは利点だと思います。今後は有利な点は生かしつつ、リモートと対面を併用するのが良いかと思えます。リモート意見交換会・メール会議は、秋から冬にかけて三回開催し、さらに4月8日には第4回を予定しています。意見交換会は役員以外の一般会員の参加もできます。

昨年度の総会の中止とききたる6月18日総会

昨年の総会は、コロナ下で収束を期待して9月11日に延期し、ウインクあいちで開催を準備しましたが、残念ながら開催一週間前に総会は中止と判断しました。本年は6月に対面で行う予定で準備しています。学内での開催は現時点では困難ですので、学外の会場です。コロナの再蔓延なら昨年同様、直前の中止とメール会議の可能性もあります。その場合は緑会のホームページに掲載しますので、直前一週間を目安にホームページをご覧ください。行事の中止は容易ですが、対面の開催は大変である一方有意義です。一般に、巷では講演会は開催されていますので、出来る限り開催を図ります。

キャリアサポート交流会・懇談会とホームページに参加企業情報の掲載継続

詳しくは担当の報告をご覧ください。本年度も残念ながらリモートで開催を1月12日に行いました。リモートでは参加企業が少ない、しかし学生の参加はほぼあるように思われます。参加企業の方からは対面が望ましいとの声をかねてから聞いています。一方、世の中の就職活動においてはリモートは定着しつつあるようにも見受けられます。昨年度の炎の就職結果から見ると、多数ではありませんが、参加企業へはそこそこの就職者数にもなっているとも見られます。緑会としてはこのイベントを通して学生会員と、企業の方々を繋ぐ役割になれば良いかと思えます。また参加企業からは各社のプレゼンタイムの要望がありますが、時間の制約から検討中です。代わりに名古屋工業大学の化学系の学生の採用意欲があることを通年で知っていただくために、緑会のホームページに参加企業の情報を残してあります。学生の方々は、これら企業が名工大を評価し、採用意欲のあることを認識していただきたいと思えます。ホームページは手製で稚拙ですが、掲載の意図はご理解ください。今後はこのページから名工大緑会の支援企業がわかり、今後の就職活動やその後の技術者人生での長い付き合いや、人脈作りに使えるように更に改善できればと思えます。

最後に コロナ下で行事に参加するのはリスクテイクを個人がどれくらい取れるかということだと思知らされました。日常の仕事と同じリスク管理でしょう。ですから総会には皆様リスク取っておいでください。今回は会員同士の顔が見られれば良い、楽しく懇談して親睦を深めれば良いかと思えます。そんなに苦勞してリスク取ってまでとは思いません。しかし会わなければ疎遠になり、会そのものも萎縮します。人と会うのは人脈になり、企業人社会から大学を支える大事なつながりでもあります。このようなつながりから日本の工業会の発展に寄与できれば嬉しいことです。個人意見になりましたが幹事長と会長からのあいさつとさせていただきます。

(文責：村瀬由明)



ご 挨拶

生命・物質化学分野長 小澤 智宏

緑会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。本年度、生命・応用化学科の生命・物質化学分野（D分野）の分野長を務めさせていただきます無機化学講座の小澤です。どうぞよろしくお願いいたします。

毎年、緑会の皆様にはコラボ企画として実施しております「化学公開セミナー」、「キャリアサポート交流会」において、大変お世話になっております。この場をお借りして感謝申し上げます。

さてコロナ禍が2年ほど前から始まり、大学の講義、多くのイベントに対して種々の制限がかかり、場合によっては中止になっておりました。上記の緑会とのコラボ企画もコロナ禍以前と同様の対面での実施を企画しておりましたが、残念ながら2021年度はオンラインでの開催となってしまいました。幸い緑会幹事の皆様、会員様、本学教職員並びに学生にご協力いただき、規模を大きく減ずることなく実施することができました。本文執筆時（3月中旬）には、まん延防止等重点措置が解除されることになり、今後は少しでも自由度のある活動ができるようになっていくことを期待いたします。

大学での生活環境ですが、大学院の講義は、原則的に動画

配信によるオンデマンド講義のみの実施、学部第一部では講義科目はオンデマンドと対面併用、演習・実技科目は対面と2020年度よりもやや緩和された条件での実施となりました。2022年度も原則このシステムで開始する予定となっておりますが、コロナの緩和状況によっては、可能な限り対面を増やしていく方針と聞いております。このような不自由な状況の中でも蔓延防止に努めつつ、できるかぎり人との接点を見出せる環境に移行できればと考えております。

学科内での近況としましては、3月末をもちまして、長年にわたり本学科の教育・研究・運営等にご尽力いただきました高分子分野の山下啓司教授がご退職されました。また、生化学分野の小笠原理紀准教授が、産業技術総合研究所にご栄転となり、本学科を離れることとなりました。

天災、コロナ禍ならびに不安定な社会情勢など、皆様の生活や学生の就職にも影響しかねない近況ではありますが、緑会の皆様には、学生、教職員に対して今後も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のますますのご健勝とご多幸を祈願いたしましてご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

生命・応用化学科 D分野就職担当 加藤 禎人

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続き本年度も私が担当させていただきます。次年度からは9年前のシステムに戻り毎年就職担当が変わることになりますので、変わらぬご支援をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

この原稿を書いているのは2月上旬ですが、今年度は昨年度より求人活動が各社ともかなり速い動き出しでした。すでに内々定をいただいている学生も複数名おります。また、推薦枠もあるのですが大きな会社は自由応募と変わらない厳しい選考があり推薦応募でありながらも早々と選考漏れする学生も多数見られます。やはり、相手からの質問に対する確にわかりやすく自分の考えを伝える能力が必要です。それは学

会発表など緊張感のある場での確に質問に対し回答する能力を養わなければならないと実感できます。2月現在では内定者もまだ少数ですが、求人数がすでに170社、緑会主催のオンライン会議には75社の参加があったことなど本学学生に対する社会の要請は高いものであると実感せざるを得ません。

毎回同じことを書くのですが、個性を生かした自己表現が最も重要です。なんといっても面接官の印象に残らなければなりません。企業も求人に対し必死です。もう一度、自分が採用担当だったらどんな学生を採用したいかという立場に立って面接に挑んでほしいと思います。短い学生生活ですが、この時期に形成される知識や考え方は、これからの学生自身の生き方を決めますので真剣に研究に挑んでほしいと思います。



◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 大久保智明(D57)

緑会東京支部では、毎年5月と10月に学年幹事会を開催し、11月には名古屋工業会東京支部の総会・講演会・懇親会と兼ねる形で、緑会東京支部秋の集いを実施しています。学年幹事会には、昭和33年ご卒業の方から、平成29年ご卒業の方まで、現在、30名の学年幹事が登録されており、例年であれば一月末頃に新年会も賑やかに開催しています。また、名古屋工業会東京支部の総会では、単科会として毎年、最大規模の出席者を集めて存在感を示しているほか、令和3年度および4年度は緑会から東京支部長を出し、総会の運営をはじめ東京における名古屋工業会の活動を主導しています。

ところが昨年の「炎」でもご紹介しましたが、コロナ禍のためにほとんどの活動が中止またはメールによる書面会議の

形となってしまい、すでに丸2年にわたって緑会東京支部の皆様と直接お目にかかってお話しする機会をもつことができていません。今年の春以降、コロナ禍はやや落ち着きを見せていますが、まだまだ多人数が集まったの会議には抵抗があり、他の支部の方々も同様のご苦勞をされていることと存じます。

しかしこの間、緑会や名古屋工業会ではオンライン会議が一般化してきており、本年は東京支部においても先ほどご紹介した学年幹事会などをオンライン会議で実施することを検討したいと思います。引き続き何かと不自由な中での活動となりますが、緑会の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 西川 嘉一(G50)

ご存じのように近畿地区は「まん延防止等重点措置」が終了しましたが、皆様方の生活に大きな影響があったと思います。

緑会近畿支部は、現時点で完全な冬眠状態なので、これからの活動の方針を述べます。

(1)メンバーの連携強化

現在メール連絡可能なメンバーに対しては、画像を含んだ交信を可能にします。これを用いて、ネット飲み会や総会への展開を図ります。

(2)メンバーの招集強化

現在、滋賀県を中心とした近畿地区に、緑会卒業生が多

数就職されています。一人でも緑会の活動を説明することで緑会への参加を呼びかけます。この手法を検討中です。皆様の友人へも、緑会への参加を呼びかけて下さい。

(3)大阪支部との連携

大阪支部では、4月以降について「旅を楽しむ会」など、屋外での行事を企画しています。ぜひ大阪支部のHP (<http://nit-osaka.com/>)をご覧ください、参加をお待ちしています。大阪支部は、現在ネットでの会議にて行っていますが状況によれば、リアルな会議に変更していきます。特に、10月1日(土)には大阪支部総会を予定しています。皆様の積極的な、参加をお待ちしています。



第二部から基幹工学教育課程へ

生命・応用化学科 第二部検討部会委員 加藤 禎人

昨年の緑会ニュースで若干触れさせていただきましたが、本年度から基幹工学教育課程がスタートしました。第二部が廃止され、新たに学科を絞り夜間主の教育課程が編成されました。下の図に示しますように1学科(1課程2コース)編成となり、1959年に工業化学科、機械工学科、電気工学科、土木工学科の4学科でスタートした第二部が終わりを告げま

した。これまで第二部は中京地域のものづくりの発展に貢献する人材を数多く輩出してきましたが、社会情勢の変化に伴い、勤労学生が激減し、本来の夜間学部としての役割を果たしているとはいえない状況となりました。他方で全国の工業高校の多くでは大学進学も視野に入れた指導をする高校も多く、さらに中京地区の産業界にアンケートを取った結果、従

業員の希望に応じて大学での受講・学修を推奨している事業所が少なくないこと、さらに電気機械系および土木系の企業では学部卒の学生の需要がまだ高いことなどがわかりました。

そこで、第二部（学生定員20名）を改組し、新たにすべて推薦入学（工業高校推薦枠16名、一般推薦枠4名）とした「基幹工学教育課程（夜間主）」を設置しました。夜間主という意味は、学生の時間の使い方に融通を持たせ、同名の昼

間の講義の受講も一部許可しているという意味です。これにより、本学の教育体制は以下の3本柱として再編されました。「中核的技術者・研究人材の育成（高度工学）」、「多面的視野を持つ開発人材の育成（創造工学）」そして「基幹技術の展開を具現化し、製造・施工現場で即戦力となる創成人材の育成（基幹工学）」です。（新たな緑会会員は終了ということになります。）

第二部	物質工学科	5	25
	機械工学科	5	25
	電気情報工学科	5	25
	社会開発工学科	5	25
	計	20	100



基幹工学教育課程（夜間主）		
・電気・機械工学コース ・環境都市工学コース *修業年限は5年	20	100
計	20	100

中京地域産業界が求める
専門基礎教育プログラム

令和3年度キャリアサポート交流会・懇談会の開催について

緑会庶務幹事 青木 純

緑会主催で毎年開催してきたキャリアサポート交流会・懇談会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、オンラインにて開催しました。

オンライン会議システムは昨年と同じRemoを用いて実施しました。企業・学生双方ともこの2年間の三密の自粛によりオンラインでの会議、学会等に慣れたためか、接続トラブルはほとんどなく開催できました。昨年からの主な変更点は、1回の説明時間を20分から30分に延ばしたことと1回目の説明会のみ予め学生が訪問する企業を指定した指定席とし、残りの4回を学生が自由に訪問できる自由席としたことです。指定席制を導入した理由は、オンライン（図参照）では各企業が所定のブースに待機していて学生が訪問するのを待つことになり、対面形式と異なり学生の呼び込みができないといった事情や学生には希望する企業のみ限定せずに化学系の学生を必要としている企業まで視野を広げていただくための試みでした。企業からのアンケートでは好意的なコメントが寄せられ、学生からは苦情が来るかと思っておりましたが、苦情は無く、ご理解いただけたと安堵しております。また、本交流会開催に当たって緑会HP上に交流会参加企業の一覧（URL、説明資料、紹介動画等）を掲載しています。これは開催日のみだけでなく、次回までの約一年間を通してご覧いただけます。学生の皆さんには是非就職活動に利用していただければと思います。

最後に、本交流会・懇談会はここ2回ほどオンライン開催により安全・安心に開催されましたが、対面開催の重要性も改めて認識するようになりました。次回はワクチン接種の普及により新型コロナウイルス蔓延が収まり、対面で開催できるようになることを祈念しております。

参加企業：

http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/R3_CS_Files/CS_R3_Company.html

・当日の参加企業数、参加登録者数

	令和3年度 (オンライン)	令和2年度 (オンライン)	平成31年度 (中止)	平成30年度 (対面)
企業数	75社	66社	—	86社
企業関係者 (卒業生)	129名 (40名)	117名 (32名)	—	152名
学生	123名	178名	—	113名
緑会役員	5名	5名	—	5名
教員	22名	16名	—	9名

・当日のスケジュール概要

日時：令和4年1月12日（水）

場所：オンライン会議システムRemo

（管理運営：株式会社日本キャリアセンター）

主催：名古屋工業大学 緑会

共催：名古屋工業大学 生命・応用化学科 生命・物質化学分野（D分野）

12:00-12:30 企業Remoへ接続

12:30-13:00 学生Remoへ接続

13:00-13:20 緑会およびD分野からのご挨拶

緑会幹事長 村瀬 由明

2021年度 生命・応用化学教育類長 北川 慎也

2022年度 D分野長 小澤 智宏

就職担当 加藤 禎人

13:20-16:20 1ターム（30分）×5回

第1タームのみ指定席、他のタームは自由席

16:25-17:30 ターム6（フリータイム懇談会）



名工大メールアドレス取得・利用の勧め

現在、緑会ニュース「炎」は年一回発行し、郵送しております。郵便料金と電子メールの価格差は今後ますます広がっていくことを考えると、将来的には電子メール受信が可能な方に電子メールに移行する必要があります。その際にメールアドレスが必要となりますが、個人メールアドレスを収集し、緑会で管理することは負担が大きく難しいためできません。そこで、名古屋工業大学卒業生連携室が管理する名工大メールアドレスを利用したいと考えております。卒業生の方なら、生涯無料で利用でき、プロバイダの変更や退職等によりメールアドレスが不明になることがない利点があります。下記に申込方法を卒業生連携室HPより転載しましたので、ご利用ください。

名工大メールアドレスの申込みと登録情報の確認・変更のお手続き

改訂 平成29年4月1日
平成24年9月1日

名古屋工業大学では、卒業生の皆様に、生涯無料で利用できる名工大メールアドレス（Gmail）の提供をしております。
【※2012年3月以降に卒業された方々と、在学中の学生の皆様には、既に名工大メールアドレス（Gmail）が発行されております。】

このメールアドレス（Gmail）は、本学卒業生専用のドメイン「nitech.jp」を持ち、本学から定期的にお届けするメールマガジンの配信アドレスになります（例：名工太郎さんの場合、t.meikou.xxx@nitech.jp（xxxは3桁の乱数））。

また、メールマガジンをお届けする以外にも、皆様方での連絡手段としてご利用いただけるだけでなく、メールリストやスケジュール管理などGoogleが提供する各種サービスもご利用いただけます。

なお、ご登録いただきました個人情報については、本学で適正に管理し、このウェブサイトに掲載している個人情報保護方針の「個人情報の利用目的」以外には使用しません。また、断りなく同窓会以外の団体や個人等に提供することはいたしませんので、ご安心ください。

本サービスによって、皆様方での交流や本学との情報交換がより一層促進されることを期待しております。

名工大メールアドレスサービス（申込み、確認・変更）

<https://alum.nitech.ac.jp/service.html>

第13回化学公開セミナーについて

2022年度の化学公開セミナーは、6月に開催予定です。開催については、名古屋工業大学 生命・応用化学HP <http://lsac.web.nitech.ac.jp> の新着情報をご確認ください。

令和3年度卒業生就職先一覧

●博士後期課程●

AGC若狭化学㈱, 住友化学㈱, デンソー㈱, 日本新薬㈱

●博士前期課程●

アークレイ㈱, アイカ工業㈱, ㈱アイシン, 愛知中部水道企業団,
赤城乳業㈱, アクセンチュア㈱, 朝日インテック㈱,
㈱アドマテックス, アビ㈱, イベデン㈱, AGC㈱,
㈱オープンハウス, キオクシア㈱, キッコーマン㈱, 黒金化成㈱,
小島プレス工業㈱, 四国化成工業㈱, シスメックス㈱,
昭和電工㈱, 住友電装㈱, 住友理工㈱, セーレン㈱,
積水化学工業㈱, ダイセキ環境ソリューション㈱, 大同特殊鋼㈱,
大日本印刷㈱, 太平洋工業㈱, 田岡化学工業㈱,
タカラベルモント㈱, 竹本油脂㈱, 中京化成工業㈱,
㈱中電シーティーアイ, テルモ㈱, 東亜合成㈱, ㈱東海理化,
東京エレクトロン㈱, 東芝ライフスタイル㈱, 東ソー㈱,
東邦ガス㈱, 東洋紡㈱, TOTO㈱, TOTOバスクリエイト㈱,
凸版印刷㈱, 豊田合成㈱, トヨタ紡織㈱, ドリームスデザイン㈱,
㈱名古屋化学工業所, 名古屋工業大学大学院博士後期課程,
鍋屋バイテック㈱, 日清紡ホールディングス㈱, 日医工㈱,
日産化学㈱, 日清フーズ㈱, 日星電気㈱, 日本ガイシ㈱,

日本製鉄㈱, 日本ゼオン㈱, 日本特殊陶業㈱,
㈱ノリタケカンパニーリミテド, パナソニック㈱,
パナソニックエコシステムズ㈱, ㈱フジインコーポレーテッド,
フタムラ化学㈱, プライム ブラネット エナジー&ソリューションズ㈱,
ブラザー工業㈱, ㈱MARUWA, 三井化学㈱,
ヤマザキマザック㈱, 山田コンサルティング㈱

●第一部●

愛三工業㈱, 愛知県警察, アソウ・アルファ㈱,
㈱足立ライト工業所, アビ㈱, エステー㈱,
㈱NSソリューションズ中部, NTTデータ東海, ㈱オービック,
㈱川本製作所, 京セラ㈱, ㈱東海理化, 東京大学大学院,
豊田テクニカルデベロップメント㈱, ㈱長尾工業, 名古屋市,
名古屋工業大学大学院, 林テレンプ㈱, ホーユー㈱,
三菱電機エンジニアリング㈱, 美濃窯業㈱, ㈱メイツコム,
㈱リンクアカデミー

●第二部●

愛知電機㈱, イイダ産業㈱, イベデン㈱, ㈱植屋

令和4年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記の要領で開催いたします。開催場所が名工大ではありませんので、ご注意ください。

同窓生をお誘い合わせの上、ぜひともご参加いただければ幸いです。

記

日 時 令和4年6月18日(土) 14時より

場 所 ウィンクあいち11階 1102室

愛知県名古屋市市中村区名駅4丁目4-38（名駅から徒歩5分）

○総 会

○大学近況報告 生命・物質化学分野長 小澤 智宏 教授

○講 演

題目 「エンジニアリング企業の業務と最近の業界動向について」

講師 刑部 道博 氏（工業化学科昭和54年卒業）

○懇親会は行いません。

ご参加いただける同窓生の皆様におかれましては、6月3日(金)までに、下記の事務局宛、E-mailまたはハガキにて「氏名」「連絡先」をご連絡いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症の状況悪化などによる中止の場合は緑会HPに掲示いたします。

連絡先 名古屋工業大学 緑会事務局 宛

E-mail : midori@ach.nitech.ac.jp

住所 : 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>

緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>

名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下にお願いします。

E-mail : renkei@adm.nitech.ac.jp

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 卒業生連携室